

概要版 - 住民説明会（釧路市 - 2003 年秋）

釧路市 回数 15 回 参加者 561 名

H15/10/4	13:30	コア鳥取	参加者：45 名	H15/10/4	18:00	漁民センター	参加者：5 名
H15/10/5	13:30	コア大空	参加者：43 名	H15/10/7	18:30	コアかがやき	参加者：62 名
H15/10/8	18:30	ふれあい望洋	参加者：17 名	H15/10/9	18:30	大楽毛荘	参加者：32 名
H15/10/10	18:30	まなぼっと	参加者：68 名	H15/10/11	13:30	星鶴荘	参加者：25 名
H15/10/11	20:00	農業生活センター	参加者：20 名	H15/10/14	18:30	清風荘	参加者：29 名
H15/10/15	18:30	交流プラザさいわい	参加者：62 名	H15/10/16	18:30	鉄北荘	参加者：25 名
H15/10/17	18:30	春採下町会館	参加者：46 名	H15/10/18	13:30	サンライフ	参加者：28 名
H15/10/20	18:30	駒場会館	参加者：54 名				

主な質問・意見	主な説明内容
<p>新市建設計画に関すること</p> <p>質疑 釧路の都市計画は帯広近郊に較べて非常に遅れている。帯広では J R の高架、十勝川河畔の観光開発、また、苫小牧では廃自動車のリサイクル解体が立派な事業となっている。 釧路市も道東の拠点都市として、新しい産業、雇用の創出に力を入れて欲しい。</p> <p>質疑 新市建設計画は立派でそれなりに納得出来るが、公共施設の配置計画はできているのか。また、これらの効果などを数字で示せないのか。就業構造などはどうなるのか。</p> <p>質疑 書かれている事業にいくつか疑問を感じる。例えば「企業誘致活動」や「雇用の対策」。今の時代に釧路に集まる企業があるのか。この不況の中、どのような雇用が生まれるのか。</p> <p>質疑 将来の地域の発展に向けて地産地消の取組みも進めて欲しい。</p>	<p>回答 合併すると、第 1 次産業、観光産業が特に大きくなると考えている。この特色を生かし、厚みのある産業振興をしっかりと進めていく。また、廃自動車の処理など、これからの時代の流れや、環境問題などで必要となってくるものについても、しっかりと取り組んでいく。</p> <p>回答 新市になった時、一番最初にこの新市建設計画をもとに総合計画をつくる。この時に、各地域の現状などを踏まえ、各事業や施設整備の順位や配置などについて決めていく。この時点で、産業構造別の就業者や生産額などの推計を具体的に行うこととなる。</p> <p>回答 企業誘致は、今もそれぞれの市町村で一生懸命やっている。釧路市でいうと、ジメチルエーテル（DME）の工場を釧路工業団地につくっているし、つい最近、鮭の軟骨から薬品をつくる工場が来てくれる見込みがでてきた。関連企業の進出も見込めるかもしれない。これらの中で雇用も生まれてくる。企業誘致は案外一般には見えにくいかもしれないが、ここ 3 ヶ月くらいで大型スーパーも 3 つオープンして、600 人くらいの雇用が生まれている。合併するしないにかかわらず努力が必要だと思う。</p> <p>回答 新市建設計画の中にもあるが、例えば牛乳・チーズなどを生産していく取組みが考えられる。釧路管内では牛乳がたくさんとれるが、これはみんな本州送りになって釧路管内の人は口にするのができない。そこで、鶴居村では地産地消の観点から、乳製品の加工場建設を計画している。これは、地域全体</p>

概要版 - 住民説明会（釧路市 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
<p>質疑 概要版の事業計画や財政計画では、展望が明るく見える。それなのに、なぜ合理化しなければならないのか。</p>	<p>の地産地消にもつながることから、実現に向けて、新市建設計画で取り組んでいくということで掲載している。</p> <p>回答 地方自治体を取り巻く環境は財政状況も含め非常に厳しい。合併によって重複する経費など、無駄を省いて効率化し、財政の健全化を図っていくことを前提として、財政計画が立てられている。</p>
<p>質疑 合併した場合に、国からの支援策として10年間で496億3千万円の起債が可能となっている。起債とは借金のことか。また借金をして、新市の施策事業を進めるのか。交付税で措置されるとあるが、どの様な計算か。</p>	<p>回答 合併特例債は、全て新しい事業に使われるのではなく、今の6市町村が既に計画している将来のまちに必要な事業、例えば、道路などの生活環境整備などに多く利用される。その他、合併時に市町村間で差が大きい下水道普及率などの水準を合わせていく事業や、市民生活に望まれる事業などを中心に有効に活用していく考え。無駄な借金をして、無駄な事業を行っていくような考えは、6市町村ともに持っていない。</p> <p>また、この特例債は、合併後の10年間の事業などに利用でき、事業費の95%の起債（借金）が認められ、その償還金の70%が国から交付税措置される。</p>
<p>質疑 行政経費の削減効果の中の物件費というものは具体的にどの様なものなのか。また、削減額はどのくらいになるのか。</p>	<p>回答 物件費の内容としては、行政の運営に使う旅費・印刷正本費などの需用費・使用料・市の施設、例えばコミュニティーセンターなど施設を運営していく委託料、臨時職員の賃金などである。これらについて、節約できるところがあるのではないかとということで、類似都市を参考にして、15年間で毎年8千3百万円を削減する計画にしている。</p>
<p>質疑 釧路市の財政再生プログラムのようなものは、他の町村でもつくっているのか。つくっているとすれば、合併しなくてもよいという様な誤解が生まれないのか。</p>	<p>回答 各自治体とも、合併するしないにかかわらず、生き残っていく道を考えなくては行けない。釧路市の財政再生プログラムは、合併に関係なく、独自の財政再建の具体的な方策をとりまとめたものである。</p> <p>同時に合併問題を論議するにあたって、釧路市の財政問題が懸念材料にならないようにするため、しっかりとした計画を策定してきたところである。他の町村でも、それぞれ財政シミュレーションをつくっているが、このまま、今のサービスができるのか、できないのかということも念頭において、合併問題を考える必要があると思う。</p>

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

概要版 - 住民説明会（釧路市 - 2003 年秋）

主な質問・意見	主な説明内容
<p>質疑 新聞に鶴居村に貯金があって、その貯金は村民のために使いたいという記事がのっていたが、こんなふうに裕福なところが合併するのか。</p> <p>意見 道州制などの話しが出ているが、釧路市は道東の拠点として、県庁所在地だという意気込みで、釧路市、また管内、根室も含めて、発展を考えるべきだ。そうなれば、鉄道はもう限界にきているので、高速道路を絶対につくるということを念頭においてやって欲しい。</p>	<p>回答 鶴居村には 60 億円ほどの貯金があり、その一部を鶴居村が今持っている計画に優先的に使わせて欲しいという話。全部鶴居村だけのためといっているのではない。例えば牛乳の品質を上げるための奨励金を出しており、これは鶴居村だけの制度で、これを続けて欲しいということだが、また続けるにあたっては、新市全部を対象にすれば基金も生きるのではないかというような内容である。 また、合併するかしないかについては、各自治体で検討しており、この 12 月に結論が出てくる。</p> <p>回答 高速道路は産業発展の面、防災の面から見ても必要だと考えている。何としても開通するよう努力するとともに、地域の声を国に一生懸命届けていきたい。</p>
<p>住民サービスや負担に関すること</p> <p>質疑 町村では吸収されるイメージを持っている人が多い。また、行政投資も町村が置き去りにされると心配している。 しかし、一定程度、都市基盤の整備がされている釧路市民としては、逆に町村部に多く投資されて、今の釧路市内の整備がこれから進まなくなるのではないかという懸念がある。</p> <p>質疑 調整項目として、農業協同組合、農業後継者対策が載っている。一方、釧路市・白糠町・釧路町では、漁業が基幹産業であるし、5 つの漁協があり、やる気のある若い漁業者もたくさんいるが、これらの方針が示されていないのはなぜか。</p>	<p>回答 それぞれのまちにはそれぞれの産業や資源、伝統・文化など様々な特徴があり合併してひとつのまちになっても、これらを生かしながら、魅力ある地域をつくっていかなければ、合併する意味がないと思う。 都市基盤の整備については、道路や下水道や学校や地区会館、老人センターなど様々なものを含めて、自治体間の格差を是正して、一定程度レベルを等しくする。また、どこの地域にいても、同じ市になったら同じサービスを受けられることが原則だと思っている。 整備をしていくにあたっては、どこかの地域ばかりということではなく、バランスをもって進めていく。</p> <p>回答 農協については、現在合併の話しが具体化しており、そうなった場合も含めて、新市での対応、連携を考えなければならなかったため、先行調整項目として調整させてもらった。調整項目は先行の 137 項目の他にも、1,000 項目以上あり、漁業関係についてもたくさんの項目がある。基幹産業であるので、きちんとした振興策をとっていく。</p>

概要版 - 住民説明会（釧路市 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
<p>質疑 仮に釧路町が合併しないとした場合、ごみ、水道、火葬場、し尿処理などがどうなるのだろうとの話が出た。こういうのをはっきりさせないと釧路町の方も不安ではないかと思う。</p>	<p>回答 従来からある関係は、合併するかしないかということとは一切関係がないと考えている。市の水道の売上の 11%が釧路町であるし、また火葬場については、建物は市、周辺の道路などは釧路町が整備している。ごみも6つの市町村が同じ施設で焼却し、それぞれの分を負担する。このような関係は変わりない。</p>
<p>質疑 合併すると非常に面積が広がるが、防災や医療の体制はどうなるのか。</p>	<p>回答 現在の消防体制、防災体制は維持し、縮小するような形にはしない。医療体制については、様々な調整があるため、合併時すぐにはいれないが、現状を維持した中で、将来的には、現在、町村にある病院が、今の市立病院の分院になるのが理想である。</p>
<p>質疑 合併のデメリットは説明しないのか。これだけ面積が広がって住民サービスが行き届くのかと町村では思っている様だが、対策はあるのか。</p>	<p>回答 大きくなることで、全部に目が届くのかという心配は確かにある。しかし、それをカバーするため、現在の町村にある役場が総合行政センターになる。ここには、健康福祉、戸籍住民、税金、農業、漁業などの身近で住民の皆さんに直結した部門はきちんと残ることになる。ただ、総務部門や企画部門など、重複する部門は一カ所に統合される。</p>
<p>質疑 市は中心市街地活性化計画をつくってきたが、合併するとこれはなくなってしまうのか。中心市街地は一体どこになってしまうのか。</p>	<p>回答 今、6市町村にある中心市街地は6つとも全部残る。それぞれの地域の中心という意味がある。いま釧路市がつくっている中心市街地活性化計画は見直しが必要となるだろうが、新市になっても引き継がれる。</p>
<p>質疑 ごみ処理手数料の有料化だが、合併時まで整理するというところで、阿寒町や白糠町の例が出ているが、どういう方法で、どの程度の負担になるのか。</p>	<p>回答 これからごみ焼却炉が稼働し、運営費もかかってくる。今回、協議会では有料化の方向を打ち出しているが、料金等については、これから検討することとなる。</p>
<p>意見 昭和 40 年のはじめ頃、国の指導で、個々の町や村がお金のかかる消防を維持していくのは大変だということで広域消防体制をとるようになった。そして、現在のように防災体制が強化された。こういう現実から、今はもう、道路網も通信網もきちんと整備も</p>	

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

概要版 - 住民説明会（釧路市 - 2003 年秋）

主な質問・意見	主な説明内容
<p>されているので、自治体は大きくなって、財政基盤の健全化、施設の共有など効率的な体制をとることが望ましいと考えている。</p> <p>行政組織・機構に関すること</p> <p>質疑 各町村の役場は立派だが、市役所だけ傷みがひどく、他に間借りもしていると聞く。駐車場も狭い。財政が厳しいのはわかるが、10年計画などで建て替えることを考える必要はないのか。また、6市町村で一番便利な場所に建て替えることは考えていないのか。</p> <p>質疑 職員の数を減らしていくと知っているが、どう減らしていくのか。</p> <p>質疑 （仮称）総合行政センター長に特別職級の給料を払う責任者はいないのか。それを考慮しないで、人件費を計算するのは乱暴ではないか。また、職員の数を減らすと知っているが、小さい町村は役場が最大の職場で、優秀な若者が働く場所を失うのではないのか。</p> <p>議会に関すること</p> <p>質疑 市長はじめ特別職や各種委員、また職員も合併後直ちに減員していくのに、議員だけ2年間も在任特例という制度で残ることになっている。また、報酬も町村の議員報酬が市議と同額になるとされている。経費の節減という観点からも、果たしてそれでよいのか。</p>	<p>回答 今の庁舎は40年経っており、駐車場も狭いので、確かにそういうご意見もいただく。しかし、今全部が入る庁舎を建設すると100億円近くかかる。皆さんにはご不便をかけるかもしれないが、新しい市をつくっていく大事な時期に、庁舎は二の次だと考えている。</p> <p>回答 類似都市の平成12年度の職員数を参考にして、職員数の削減計画を立てている。最初の5年間は、4人やめて1人を補充していく。6自治体それぞれが持っている総務や企画・財政など管理部門は集約していくが、住民生活に直結している、保健福祉、戸籍住民、環境、産業など強めていかなければならない部門は減らせない。</p> <p>回答 総合行政センターには原則として部長級以上の職員が望ましいという話しになっている。職員の数については、優秀な職員を減らすとかという話しではなくて、民間でできる仕事を役所がしている部分が相当あり、それを民間におまかせしていくというのが、今の国や道や市町村の基本原則としているので、改革、効率化の観点もあわせて、この様な計画としている。</p> <p>回答 合併の最終判断は各市町村議会により行われることになる。その判断を行った議員は合併後の新しい市に、自分たちの地域の住民の意見をきちんと反映したり、新市建設計画などに盛り込まれたまちづくりをきちんと実施するための大きな責任がある。このようなことから、合併した全国の市町村のほとんどが在任特例を選択している。</p>

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

概要版 - 住民説明会（釧路市 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
<p>質疑 在任特例が切れる 2 年後の議員数は、法定定数の 38 人になるが、面積も広くなっており、人口も増えている。これで、心配されている旧町村地域の意見を取り入れていくことができるのか。</p>	<p>報酬については、いろいろと協議が行われ、報酬額はそのままでもよいという町村の議員もたくさんいたが、新しい市になったときは、地域の声をしっかり伝えることとあわせて、新市を全体的な視野で考えるなど、議員全員同じ立場での活動、苦勞になるので、報酬も同じに合わせようという協議の結果である。また、合併当初 2 年間だけ経費は増えるが、この期間は新市が出来上がったばかりの非常に重要な時期でもあり、3 年目以降長い目でみると大きな経費の節減となる。</p>
<p>質疑 市議会議員が 105 人になる 2 年間、今の議場は使えるのか。</p>	<p>回答 合併後 2 年間の在任特例期間は、それぞれの市町村合わせた議員定数が 108 人で、欠員があるので実際は 105 人となるが、合併 2 年後の議員定数は 38 人になる。この議員定数は人口によって法律で決められているので、最大数の 38 人を超えることができない。</p> <p>地域の意見を取り入れることは非常に重要なので、各地域から議員がいなくなることがないように、合併後の全市域を 1 区とするのではなく、旧市町村ごとに選挙区を設け定数を配分する方法や、新市を東西南北、中央などに分け、新しく選挙区を設ける方法などが考えられている。</p>
<p>質疑 議員の身分を 2 年間保証するとなっているが、新しい市になって、選挙をしないで、新しい市民の民意を代表していることになるのか。2 年間の特例により、地域の意見を生かそうというのなら、地域に残す総合行政センターの長を現在の町村長にして新しい市長にしっかり説明すればよいことではないか。</p>	<p>回答 原則は合併したら選挙。しかし、合併後の新しい市をつくるにあたって、合併を決議した議員が果たしていかなければならない責任がある。このことから、国も法律で 2 年間に限り全員の議員が在任することを認めている。この合併協議でも、議員は合併後の新しい市に、自分たちの地域の住民の意見をきちんと反映させたり、新市建設計画などに盛り込まれたまちづくりをきちんと実施するための大きな責任があるという観点から在任特例を選択している。</p> <p>また、総合行政センターに責任者をおくことは当然だが、新しい市の市長は選挙で決められる。いまの市町村長がどういうふうになるのかなどを相談したり、決めたりは全くしていない。</p>
<p>合併の判断に関すること</p> <p>質疑 新聞などの報道を見ると、釧路町はあまり乗り気ではないように感じるし、鶴居村も貯金がたくさんあると聞く。今年の 12 月にど</p>	<p>回答 合併協議に参加している 6 つの自治体すべてが、ひとつになることが、最良だと考えている。しかし、残念ながらどこかの町村が抜けたとしても、現在一緒に協議をしている 5 町村それぞれは、今の釧路市</p>

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

概要版 - 住民説明会（釧路市 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
<p>こかひとつでも抜けたらどうするのか。</p> <p>質疑 今年の 12 月の合併是非の判断が最終なのか。</p> <p>質疑 この合併協議に関して、他の町村長や住民がどの様に考えているのか教えて欲しい。</p> <p>質疑 釧路市の 1 万人アンケートは無差別で送ったということだが、合併に興味のないと思える年代層に多く偏ったらバランスが悪いと思う。</p> <p>意見 釧路市は合併に賛成の割合が高いと聞くが、町村ではさほどでもないと思う。それは、町村が吸収というイメージを嫌っているからだと思うが、釧路市は大都市だから、度量を見せて町村のことをよく考えて合併へ努力して欲しい。</p> <p>意見 合併をする方向で進めた方が、将来にわたって良いまちになるのではないと思う。細かい数字は多少増減しても、これらの資料から、合併した方がいいと考えられる。</p>	<p>にはない産業や資源、伝統・文化など、様々な魅力をもったまちであり、新市はこれらが融合し、さらに素晴らしいまちになると考えている。</p> <p>回答 合併の最終判断は、全ての合併協議が終了する来年の後半に予定されており、各市町村議会の議決により決められる。 しかし、その時点で、どこかひとつのまちでも合併しないと、残った市町村で協議を再開しても、合併に向けて多くの手続きがあるため、目標にしている平成 17 年 3 月末までに協議を終了し、合併することが困難になってしまう。 したがって、今年の 12 月の判断は、曖昧な姿勢ではなく、しっかりとした態度表明が必要である。</p> <p>回答 今、それぞれの町村でも同じように住民説明会が開かれて、首長や町村の職員が住民の皆さんの意見を聴き、質問を受け、説明している最中である。また、アンケートなどの実施を考えているところもある。各町村ともこれらを終えて、今年の 12 月にどうするかという判断をするところだが、今段階で他の町村がどう考えているのかはわからない。</p> <p>回答 無作為で抽出するが、年代と性別などは自ずとバランスがとれていることを確認しています。</p>

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

概要版 - 住民説明会（釧路市 - 2003 年秋）

主な質問・意見	主な説明内容
<p>抜ける場所があってもやむを得ないし、国の支援もあるこの機会を逃すことのないようにしてほしい。</p> <p>国や道の動きに関すること</p> <p>質疑 合併は国に強制的にやられているような気がするが。</p> <p>質疑 この合併と道州制の関係はどうなっているのか。道州制になったら、せっかく合併しても何もならないということになるのか。</p> <p>その他</p> <p>質疑 6市町村が合併すると面積は全国で何番になるのか。</p> <p>意見 過去において、釧路市と鳥取町が合併した。いま振り返ってみて、何か悪いことがあったかと言いたい。昔は今回のような詳しい資料も説明もなかった。損得ではなくて、我々の子孫のために、釧路の100年の大計のために正しい判断をして欲しい。</p>	<p>回答 強制とは言っていないが、確かに、これからの国の財政状況では、これまでのように地方に対する保護、あるいは政策はとれない。交付税などの配分ができないということも、三位一体の改革の中にあられている。だからといって、国がその様な方針なので合併だということではなく、今おかれた現状と、そして自分たちのまち、地域の将来をどうするかということを考え合わせた上で、各自治体が判断していくものだと思っている。</p> <p>回答 道州制は国が進める地方分権の進んだもので、県を超える大きな単位での行政府を考えるもの。今の国の仕事や税源などの財源も委譲し、行政の多くを地方へ移管するものである。市町村合併も同じ地方分権の流れの中にあるが、道州制はもっと先の話しでもあり、また道州制になったからといって、最先端の部分の市町村の制度は残るので、市町村合併が無駄になることはない。</p> <p>回答 市町村の面積としては、日本一となる。都道府県と較べても42番目となる。</p>